

昭和53年度 和歌山県文化功労賞

ふくしま ひさ (芸名 竹本住友)

住 所：和歌山県和歌山市

出 身 地：和歌山県

生 年：明治37年

◎業績及び経歴

物心つかない六才の頃から両親の趣味であった浄瑠璃を野沢吉造氏に師事する。

その後、鶴沢竜風氏・豊沢小住氏・竹本綱太夫氏・四代目竹本津太夫氏と73才の今日まで師籍四十年優秀な教職者として斯道に専念されている。

現在、和歌山県では唯一の名取りで昭和25年に免許されている。女流の太夫は全国でも約60人程度で、財団法人人形浄瑠璃因協会に所属し、観賞事業を中心として三業(太夫・三味線・人形)の保護と普及をはかっているが、現在活躍している女流太夫は15人程度である。

因協会の主な公演地は、国立帝国劇場、中日劇場、弥栄会館、朝日座などであるが、地方公演も毎年数ヶ所で行っている。

しかし、義太夫の愛好者は、へるばかりで氏は普及の為になればと、学校音楽の伝達講習会などにも積極的な努力をされてきた。

昨年県民文化会館でリサイタルを開いたが、県邦楽芸能協会の中心的メンバーとして毎年県民文化祭に参加、大阪文化祭、NHK、民放等へも度々出演するとともに、昭和36、39、40年には因協会賞を受賞している。